

1 自己評価結果の総括

(1) 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

- ・東成区では、大阪市に先だって平成25年7月より、高齢者や障がい者のみなさんが住み慣れたまちでより安心して生活を営み、孤立死等を防ぐため、水道・電気・ガスなどのライフライン等の協力事業者と幅広く連携し、日常の業務の中で各世帯の異変に気付いた場合に、区役所へ連絡していただく事業を開始した。
また、同じく平成25年度から高齢者や障がい者の皆さんが、お住まいの地域で人とのつながりづくりを進め、孤立等を防ぐとともに、災害時における避難等の支援を行う「おまもりネット事業を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット事業」にも取り組んだ。今後とも、高齢者・障がい者の皆さんが安心して暮らせる取り組みを進めていきたい。
- ・子育て支援について、核家族化が進む子育て家庭で、悩みを抱える親子を支えるために子育てボランティアの育成に取り組んだ。平成26年2月からは子育て支援に関する各種情報について、子育て中の親世代をターゲットにフェイスブックでの情報発信を開始した。今後とも、子育て世代が安心して暮らせる取り組みを進めていきたい。
- ・子ども防犯対策事業として、区内8か所の小学校において、区役所の地域安全担当職員が中心となって、「自分の身は自分で守ろう」をテーマに実践的な防犯教室を開催した。開催後のアンケートでは、防犯教室の内容に対し、非常に高い理解度の回答が寄せられるなど、子どもの防犯意識の形成に非常に有意義なものとなった。また、防犯教室で使用した「子ども防犯ハンドブック」は防犯教室未開催の区内の小学校にも配布した。今後とも、子どもたちが安心して暮らせる取り組みを進めていきたい。

(2) 解決すべき課題と今後の改善

- ・がん検診をはじめとする各種健診について、受診率の向上が健康寿命を延ばすためには重要であるが、東成区における特定健診やがん検診の受診率は低迷している。受診率向上のためには、各地域を通じた生活習慣病対策に対する意識啓発が重要である。区民の意識向上のため保健師が積極的に、地域・関係団体・関係機関と協働して、啓発活動に取り組んでいく。